

グローバル時代のGAPの意義と展望

平成30年6月20日

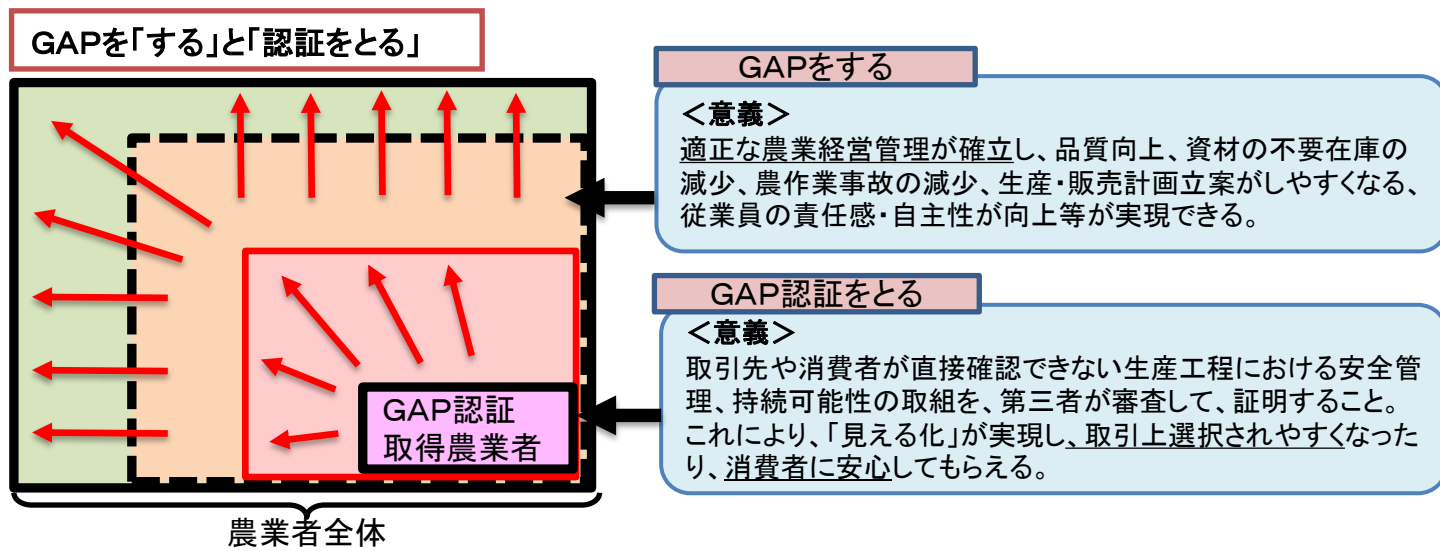
農林水産省

GAPとは何か

「GAP」とは	農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の <u>持続可能性を確保</u> するための <u>生産工程管理の取組</u> 。(GAP: Good Agricultural Practice)
「GAPをする」とは	農業者がGAP(活動又は取組)を <u>自ら実施</u> すること。 認証を取得しているかどうかは関係ない。
「GAP認証」とは	第三者機関の <u>審査</u> により、GAPが正しく実施されていることが <u>確認された証明</u> 。
	ASIAGAP、JGAP：一般財団法人日本GAP協会が策定した日本発のGAP認証。平成29年8月よりASIAGAP(旧JGAP Advance)、JGAP(旧JGAP Basic)の運用を開始。 GLOBALG.A.P.：ドイツのFoodPLUS GmbHが策定したGAP認証。主に欧州で普及している。青果物に関してGFSI承認を受けている。
「GAP認証をとる」とは	GAP <u>認証を受けること</u> 。 これにより、GAPを実施していることが客観的に証明される。



「GAP」は実施する(する)もの、「GAP認証」は取得する(とる)もの



GAP実施の意義

- GAPの実施は、生産管理の向上、効率性の向上、農業者自身や従業員の経営意識の向上につながるといった効果があり、農業人材の育成、我が国農業の競争力強化にも有効。

GAPの実施（例）

→ 農場内を点検し、課題や問題点を見つけ、改善。

< 食品安全 >



包装資材のそばに灯油
など汚染の原因となる
ものを置かない



堆肥置き場や調製
施設では、専用の
履物を準備する

< 環境保全 >



廃棄物を農場に
放置しない



農薬空容器は
分別して処分

< 労働安全 >



危険な作業はスイッチ
を止めてから行う
（巻き込まれ防止）



危険箇所の
掲示をする

< 人権保護 >

家族経営協定の締結、
技能実習生の適切な労働条件の確保

< 農場経営管理 >

責任者の配置、
教育訓練の実施、内部点検の実施

< その他 >

商品回収テストの実施、
資材仕入先の評価

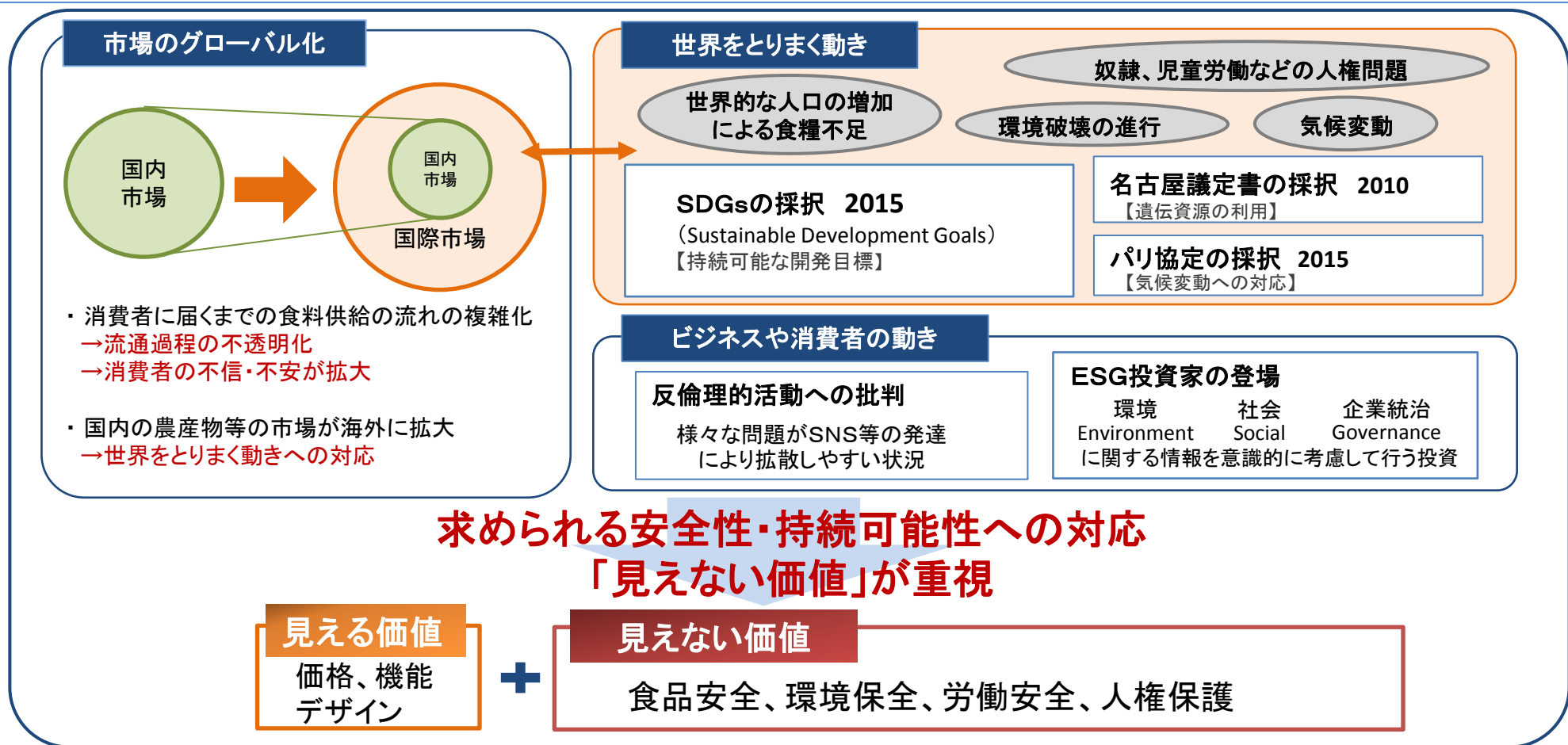
GAP実施による経営改善効果



「改善した」と回答した者の割合

出典：「GAP導入による経営改善効果に関するアンケート調査結果」(H25 .1（独）農業・食品産業技術総合研究機構）
を基に農林水産省生産局農業環境対策課で作成

グローバル時代における持続可能性確保に向けたGAPの活用



国際水準GAPの実施



食品安全

環境保全
生物多様性への配慮
温室効果ガスの発生抑制

労働安全

人権保護
使用者と労働者とのコミュニケーション
労働条件の提示

農場経営管理
教育訓練や内部点検の実施

審査

GAP認証

客観的な証明
「見えない価値」の見える化
→ 取引の際の信頼確保へ

Global Food Safety Initiative (GFSI) の概要

設立の背景

- ◆ 食品事故の多発
- ◆ 原料の調達・加工・生産のグローバル化
- ◆ 監査コストの増大
- ◆ 認証の仕組みの乱立

食品安全のグローバル規格
の必要性を共有

2000年5月 GFSI発足

グローバルな食品事業者(世界70カ国、
約400社が加入するTCGF(The
Consumer Goods Forum)の下部組織。
日本企業は75社が加入。

ビジョン、ミッション、目的

ビジョン

すべての消費者に
安全な食品を

ミッション

世界中の**消費者の
信頼**を得るため、
食品安全での継続
的改善を推し進める

目的

- ・食品安全リスクの低減
- ・コストの最適化
- ・能力開発・力量向上
- ・知識の交流ネットワー
キング

ボードメンバー(20名)

Chair

・カーギル Mike Robach氏

Vice-Chairs

- ・アホールド
Anita Scholete op Reimer氏
- ・ウェグマンズ Gillian Kelleher氏

Member

- コカコーラ ● ネスレ ● カルフル
- モンテリース ● マクナルド
- ウォルマート ● タイソン
- 中糧集团有限公司
- テスコ ● イオン ● ダノン
- ドール ● アマゾン ● オーシャン
- メトロ ● コストコ
- 新希望六和股份有限公司

食品安全認証スキームの承認

GFSI



承認基準

承認

承認基準
の適合性を審査

1. 組織への要求事項

- (1) 食品安全マネジメント
- (2) 適正製造規範(GMP)
- (3) HACCP

2. 認証の仕組みへの要求事項 (認証の信頼性を高める仕組み)

食品安全マネジメントシステム間で等価性を図り、収束させることにより、
食品安全リスクを軽減するとともに、コストを最適化する。

1. と2. の両方を承認

※ 括弧内は本部のある場所

FSSC22000 (蘭)

SQF (米)

IFS (独)

GRMS (デンマーク)

BRC (英)

CANADAGAP (加)

GLOBALGAP. (独)

Global Aquaculture
Alliance (米)

PrimusGFS (米)

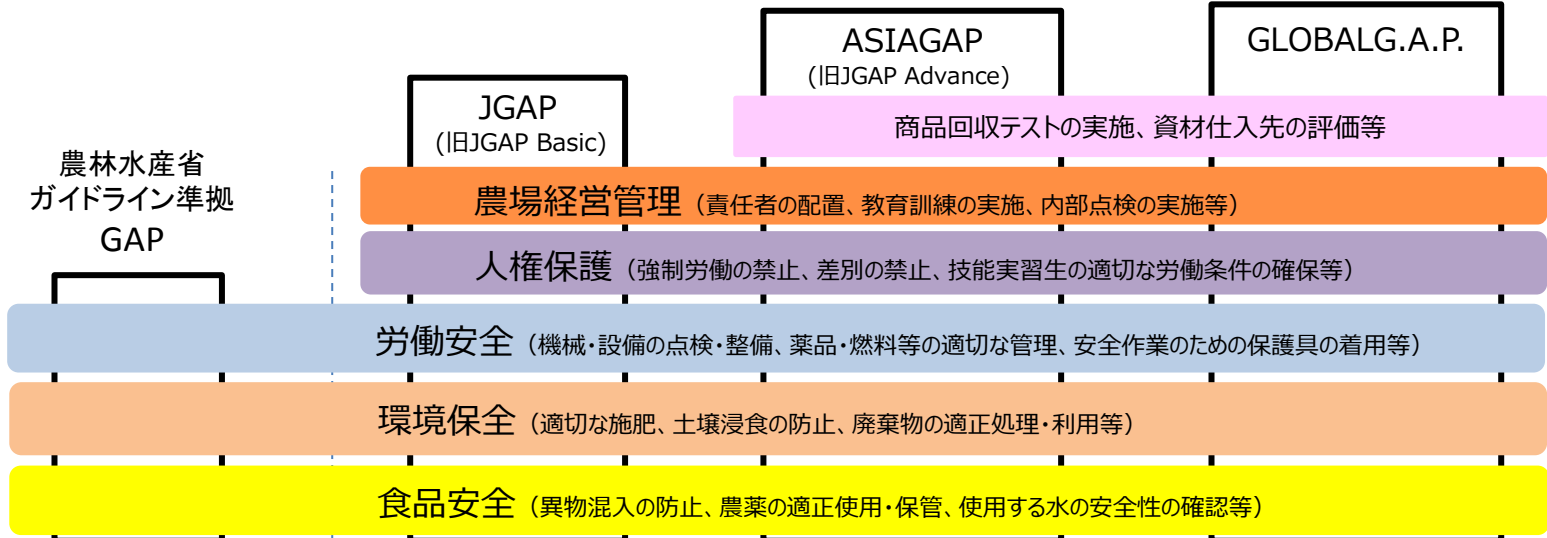
1. のみ承認

China HACCP (中)

(政府規格技術的同等性承認)

※ 赤枠は青果物の認証スキームが承認されているもの

国内におけるさまざまなGAP（各GAPの構成、特徴）

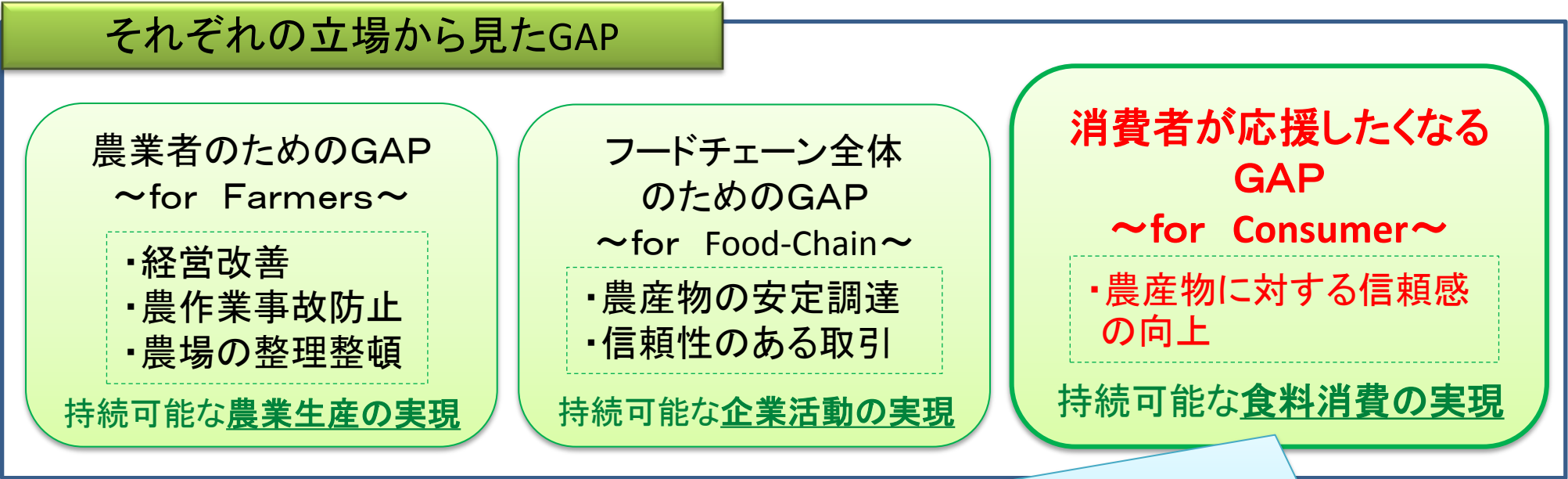


	「GAPをする」	「GAP認証をとる」		
	農林水産省ガイドライン準拠 GAP	JGAP (旧JGAP Basic)	ASIAGAP (旧JGAP Advance)	GLOBALG.A.P.
運営主体	都道府県等	一般財団法人日本GAP協会		FoodPLUSGmbH(ドイツ)
審査機関	—	4社		3社(日本人審査員がいる会社)
審査費用の目安 (個別認証の場合)	—	10万円程度＋旅費		25～55万円程度＋旅費
オリパラ調達基準	△(都道府県の確認がある場合)	○		○
GFSI※承認	—	—	青果物、穀物、茶について H29.11月に承認申請	青果物について承認
認証取得経営体数 (国内農畜産業)	—	2,785 (H30.3月末)	1,415 (H30.3月末)	480 (H29.12月末)

※GFSI(Global Food Safety Initiative)とは、グローバルに展開する小売業者・食品製造業者等が集まり、食品安全の向上と消費者の信頼強化に向け発足した組織(世界70カ国、約400社が加入するCGF(The Consumer Goods Forum)の下部組織)。

実需者や消費者(世の中)へのPRを通じたGAPの取組推進

GAPの意義やメリットに関する情報を広く共有することによって、
実需者や消費者の意識を、ポジティブなものに変えていく必要。



小売事業者等と連携したGAP(良い農業の取組)のPR活動を展開

実需者や消費者にGAPの理解が浸透、農業者に対する応援意識を喚起！

世の中へのGAPの浸透により、農業者のやる気を喚起